

美術館で憩いのひとときを ―ナイトミュージアム―

展示室などを会場に、管弦楽や声楽などをお楽しみいただく特別プログラム！
さらに、友の会会員様には優先予約、優待価格でご案内しています。



市橋 若菜 [オンド・マルトノ]

千葉大学卒業、同大学院修了。世界的オンド・マルトノ奏者の原田節氏に師事し渡仏。

オンド・マルトノの第一人者、ジャンヌ・ロリオ女史の最期の弟子となる。19世紀末に設立されたパリの音楽院、スコラ・カントルムのオンド・マルトノ科演奏家課程を審査員特別賞付きの満場一致で修了。

留学中の英国での『トゥランガリーラ交響曲』のソリストを皮切りに各地のフェスティバルで演奏、好評を博す。丹波明作曲、楽劇（オペラ）『白峯』初演、冷水ひとみ作曲

PS3『SIREN:New Translation』、山村浩二作、アニメーション映画『カフカ田舎医者』等に参加。2010年CDアルバム『市橋若菜オンド・マルトノの世界Ⅰ・Ⅱ』をリリース。

公式サイト：http://www.ondes-martenot.com

弓削 聡 [チャップマン・スティック]

武蔵野美術大学卒業。在学中からギター奏者として東京のライブハウスシーンで頭角を現し、町田町蔵（現・町田康）による「愛恋バンド」の録音及びツアーに参加。佐藤

幸雄とのバンド「絶望の友」を経て名古屋にて遠藤豆千代（Vo.）丸市（Dr.）らと「全滅三五郎」を結成しチャップマン・スティックを弾き始める。その後、フランス在住のサウンドデザイナー生方則孝の「カマラーブラヴァ（蓮の舟）」に参加し市橋若菜と意気投合、デュオとして活動を開始。今回演奏する楽曲は、前述の活動のなかで生まれた作品をスティックで編曲したものが主である。

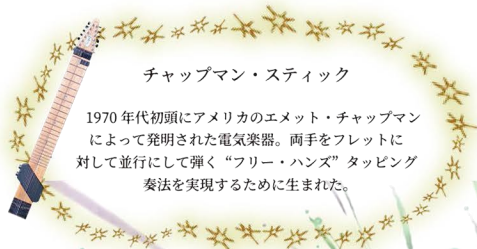
オンド・マルトノ

1928年にフランスで発明された電気楽器。鍵盤と指輪のついた本体のほか、数種類のディフューザー（音を拡散させる装置）で構成される。バネや弦、銅線などの振動が作り出す独特の残響が魅力。



チャップマン・スティック

1970年代初頭にアメリカのエメット・チャップマンによって発明された電気楽器。両手をフレットに対して並行にして弾く“フリー・ハンズ”タッピング奏法を実現するために生まれた。



2026年10月23日（金）～2027年2月28日（日）

「和紙を知る ILLUSION 柴崎幸次のあかり」

和紙に包まれた白い箱に光を灯すと、複雑な模様が立体感を伴って現れる不思議なあかり作品を展示します。インテリア・アーティスト柴崎幸次（1964-）が創出するILLUSION（イリュージョン）の世界をお楽しみください。

